

---

---

## 平成18年度事業計画の要旨

---

---

第4次長期計画では「教育の充実」を最重要課題としており、平成18年度においても教学体制の整備・充実を積極的に進めることとする。

教育関係の主な取り組みとしては、平成18年4月から経済学部において「現代経済学科」「国際経済学科」の新2学科体制をスタートさせることとなる。本学部の入学試験においては、その教育方針や内容等が高く評価され、多くの志願者を集めることに成功した。平成18年度は現場参画型・実習型講義等を多様に展開しながら、入学者の期待に応えるべく学修支援体制を確立することとする。

平成18年6月には、海外拠点として米国・バークレー市に Ryukoku University Berkeley Center (RUBeC:ルーベック) を開設する。8月以降には、RUBeC を海外キャンパスとして活用するべく本学独自の留学プログラム Berkeley Internship and English Program (BIE<ビー>Program) を実施し、国際的な教育展開を充実させる。

入口から出口までを視野に入れた学習環境を整備する。具体的な取り組みとしては、新学習指導要領による学習量格差に対応し、基礎的学力の定着を図るため、専願型入試合格者を主な対象として全学的に入学前教育を実施する。入学後においても、きめ細かな学習支援体制を構築するべく、瀬田学舎に国語能力をフォローする「ライティング・センター」を設置し、他にも T. A. などによる学習サポート体制をより一層充実させる。また、進路・目標に対する意識形成を図るため、正課授業においてもキャリア啓発・支援関係の科目を積極的に導入する。

充実した教育展開に併せて、学生募集活動とキャリア開発・就職支援の充実を図る。学生募集においては、志願者数 50,000 人の確保を目標に掲げ、高等学校や予備校等からの要望が強い3月入試を新たに実施し、受験機会を拡大する。キャリア開発・就職支援においては、正課との連携も踏まえた低年次からのキャリア開発支援を強化するとともに、インターンシップ支援オフィスを設けて全学的にインターンシップを推進する。また在学生の就職支援強化はもちろんのこと、外部業者との連携を図ることにより、卒業生の就職支援体制を拡充する。

施設・設備関係については、本学が展開する多様な活動を支えるべく、学習環境や学生生活環境の整備を図ることとする。ユビキタス教育環境の整備の一環として、全キャンパスに無線LANを整備するとともに、ポータルサービスなど利便性の高いWeb系サービスの充実をすすめる。またキャンパスライフの充実を目的として、平成16年度から開始した深草学舎キャンパス修景計画（中央広場等の改修）を、平成18年10月を目処に完了させる。課外活動施設については、南大日グラウンドを整備・拡充し、ラグビー部など諸サークルの活動環境をより一層充実させる。

研究に係る取り組みとしては、文部科学省学術研究高度化推進事業（進行中の研究：5件、申請中の研究：3件）をはじめとして、特に本学の特色分野であるアフガニスタン新発見仏教遺跡学術調査については積極的な展開を図ることとする。また、エクステンションに係る

取り組みとしては、産官学連携事業の更なる充実に努めるとともに、東京や大阪においても生涯学習事業を実施する。

その他大学運営に関する事項としては、平成21年度に予定している創立370周年記念事業に向けて鋭意準備活動を進めることをはじめとして、双方向コミュニケーションの充実を基本方針とした新たな広報展開や、龍谷総合学園の活性化などを視野に入れた浄土真宗本願寺派との連携強化などを図ることとする。また、平成18年度においては大学基準協会から認証評価を受けることから、その結果を大学運営において有効に活用すべく取り組むこととする。